

## 記入例

## 第7号様式

## 防火対象物使用開始届

① ○○年○月○○日			
(あて先) 川崎市消防長			
② 届出者			
住所 川崎市川崎区○○町○丁目○番○号 (電話 044-223-○○○○)			
氏名 株式会社 川崎消防 代表取締役 川崎 太郎			
③ 所在地	川崎市川崎区○○町○丁目○番○号 (電話 044 - 223 - ○○○○)		
④ 名称	川崎消防ビル	※⑤ 用途 (政令区分)	
⑥ 防火地域別	防火・準防火・無指定	⑦ 用途地域別	商業地域
⑧ 敷地面積	2,300 m <sup>2</sup>	⑨ 建ぺい率	80%
⑩ 公開時間 従業時間	10時00分～20時00分 9時00分～21時00分	⑪ 従業員数	昼 300人、夜 150人
⑫ 屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水その他これらに類するものの概要	消防用水 40立法メートル (自主設置)		
⑬ その他必要な事項	管理会社: ○○建物管理(株) 連絡先: 044-223-○○○○		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

- 備考 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。
- 3 棟ごとに、棟別概要を記入し添付してください。

棟 別 概 要

⑭ 用 途		事務所			⑮ 構 造		耐火造		
⑯ 建 築 面 積		1,300 m <sup>2</sup>			⑰ 延 面 積		9,000 m <sup>2</sup>		
⑱ 工 事 種 別		新築・増築・改築・その他			⑲ 施 工 者 氏 名 (住 所)		(株)川崎 川崎区〇町〇-〇		
⑳ 建 築 確 認		〇年〇月〇日第〇〇号			※㉑ 消 防 同 意		年 月 日 第 号		
㉒ 工 事 着 手		〇年〇月〇〇日			㉓ 使 用 開 始		〇〇年〇月〇〇日		
区分 ⑳ 階	㉕ 床面積 平方メートル	㉖ 用 途	㉗ 収 容 人 員	㉘ 直 通 階 段 の 数	消防用設備等 ㉚				㉛ 特 殊 消 防 等 用 設 備
					㉙ 消 火 設 備	㉜ 警 報 設 備	㉝ 避 難 設 備	消火活動 上必要な 施設	
1	1000	車庫	5		消火器	自動火災報知設備	誘導灯		
2	1000	事務所	5	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇		
3	1000	事務所	40	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	連結送水管	
4	1000	事務所	40	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
5	1000	事務所	50	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
6	1000	事務所	50	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
7	1000	事務所	40	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
8	1000	事務所	40	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
9	1000	事務所	30	2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	
⑳ 合計	9000		300						
㉜ 火を使用する設備等・電気設備等の種類及び数量		自家発電設備 (400 k w) 1 基							

## 記入例

## 第7号様式

## 防火対象物使用開始届

		① ○○年○月○日	
(あて先) 川崎市消防長			
		② 届出者	
		住所 川崎市川崎区○○町○丁目○番○号 (電話 044-223-○○○○)	
		氏名 川崎 太郎	
③ 所在地	川崎市川崎区○○町○丁目○番○号 (電話 044 - 223 - ○○○○)		
④ 名称	川崎消防ビル (△△ストア 川崎店)	※⑤ 用途 (政令区分)	
⑥ 防火地域別	防火・準防火・無指定	⑦ 用途地域別	商業地域
⑧ 敷地面積	2,300 m <sup>2</sup>	⑨ 建ぺい率	80%
⑩ 公開時間 従業時間	10時00分～20時00分 9時00分～21時00分	⑪ 従業員数	昼 10人、夜 10人
⑫ 屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水その他これらに類するものの概要			
⑬ その他必要な事項			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

- 備考 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入してください。
- 2 ※印の欄は、記入しないでください。
- 3 棟ごとに、棟別概要を記入し添付してください。

棟 別 概 要

⑭ 用 途	16 項イ 複合用途			⑮ 構 造	耐火造				
⑯ 建 築 面 積	1,300 m <sup>2</sup>			⑰ 延 面 積	9,000 m <sup>2</sup>				
⑱ 工 事 種 別	新築・増築・改築・ <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">その他</span>			⑲ 施 工 者 氏 名 (住 所)	(株)川崎 川崎区〇町〇-〇				
⑳ 建 築 確 認	〇年〇月〇日第〇〇号			※㉑ 消 防 同 意	年 月 日 第 号				
㉒ 工 事 着 手	〇年〇月〇〇日			㉓ 使 用 開 始	〇〇年〇月〇〇日				
⑳ 区 分 階	㉕ 床面積 平方メ ートル	㉖ 用 途	㉗ 収 容 人 員	㉘ 直 通 階 段 の 数	消防用設備等 ㉚				㉛ 特 殊 消 防 等 用 設 備
					㉙ 消 火 設 備	㉚ 警 報 設 備	㉛ 避 難 設 備	消火活動 上必要な 施設	
5	100	物販店	20	2	消火器  〇〇〇	自動火災報知設備  〇〇〇	誘導灯  〇〇〇	連結送水管	
㉜ 合 計	100		20						
㉝ 火を使用する設 備等・電気設備 等の種類及び数 量	無し								

【使用開始届記入要領】

項目	記入要領
① 年月日	届出日を記入してください。
② 届出者	防火対象物又は一部（テナント）を使用する所有者、占有者等の住所、氏名、電話番号を記入してください。 法人の場合は、法人所在地、法人名、代表者役職、代表者名、電話番号を記入してください。
③ 所在地	防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。 テナントの場合は、テナントの電話番号を記入してください。
④ 名称	防火対象物の建物名称を記入してください。また、テナントとして入居する場合は、建物名称及びテナント名を記入してください。 例 川崎〇〇ビル（△△ストア 川崎店）
⑤ ※用途	消防署職員が記入しますので、記入しないでください。
⑥ 防火地域別	防火対象物の所在地の指定されている防火地域名に○をしてください。 ※川崎市都市計画情報インターネット提供サービスで確認できます。
⑦ 用途地域別	防火対象物の所在地の用途地域を記入してください。 ※川崎市都市計画情報インターネット提供サービスで確認できます。
⑧ 敷地面積	防火対象物の敷地面積を記入してください。 テナントの場合は、入居する防火対象物の敷地面積を記入してください。
⑨ 建ぺい率	防火対象物の所在地の建ぺい率を記入してください。 ※川崎市都市計画情報インターネット提供サービスで確認できます。
⑩ 公開時間 従業員時間	防火対象物の公開時間と従業員時間を記入してください。 テナントの場合は、テナント部分の公開時間と従業員時間を記入してください。 ※公開時間：営業時間と同意義です。
⑪ 従業員数	防火対象物で従事する昼間と夜間の従業員数を記入してください。 従業員数が時間により変動がある場合は、最大数を記入してください。 テナントの場合は、テナント部分の従業員数を記入してください。
⑫ 屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水その他これらに類するものの概要	屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要を記入してください。 例 消防用水 40 立方メートル ※ 該当するものの設置がない場合は、記入不要です。
⑬ その他必要な事項	管理会社が既に決定している場合の会社名等、特記事項があれば記入してください。
⑭ 用途	防火対象物の用途を記入してください。（消防法施行令別表第 1 を参照）
⑮ 構造	防火対象物の構造を記入してください。 例 耐火造 準耐火造 防火造 不燃造 等
⑯ 建築面積	防火対象物の建築面積を記入してください。 テナントの場合は、入居する防火対象物の建築面積を記入してください。
⑰ 延面積	防火対象物の延面積を記入してください。 テナントの場合は、入居する防火対象物の延面積を記入してください。
⑱ 工事種別	該当する工事種別に○をしてください。
⑲ 施工者氏名	当該工事の施工者氏名と住所を記入してください。法人の場合は、法人名と法人所在地を記入してください。
⑳ 建築確認	建築基準法（第 6 条第 1 項、第 87 条第 1 項）に基づく確認申請を行った際の建築確認年月日及び番号を記入してください。
㉑ 消防同意	消防署職員が記入しますので、記入しないでください。
㉒ 工事着手	工事に着手した年月日を記入してください。 テナントの場合は、テナントの入居等に伴う工事を開始した年月日を記入してください。

【使用開始届記入要領】

②③ 使用開始	防火対象物の使用を開始しようとする年月日を記入してください。 テナントの場合は、テナントが使用を開始する年月日を記入してください。
②④ 階/区分	階数を記入してください。 テナントの場合は、テナントの使用階を記入してください。
②⑤ 床面積平方メートル	各階の床面積を記入してください。 テナントの場合は、テナントの占有面積を記入してください。
②⑥ 用途	各階の用途を記入してください。 テナントの場合は、テナントの用途を記入してください。
②⑦ 収容人員	各階の収容人員を記入してください。(消防法施行規則第1条の3を参照) テナントの場合は、テナント部分の収容人員を記入してください。
②⑧ 直通階段の数	各階から避難階に通じる直通階段数を記入してください。
②⑨ 消火設備	各階に設置されている消火設備名を記入してください。 例 消火器 屋内消火栓設備 スプリンクラー設備 粉末消火設備等
③⑩ 警報設備	各階に設置されている警報設備名を記入してください。 例 自動火災報知設備 非常警報設備等 火災通報装置
③⑪ 避難設備	各階に設置されている避難設備名を記入してください。 例 避難器具(緩降機、救助袋等) 誘導灯 誘導標識等
③⑫ 消火活動上必要な施設	各階に設置されている消火活動上必要な施設名を記入してください。 例 連結送水管 非常コンセント設備 排煙設備等
③⑬ 特殊消防用設備等	各階に設置されている特殊消防用設備等を記入してください。 例 加圧防排煙システム等
③⑭ 合計	合計欄には、床面積及び収容人員の合計を記入してください。
③⑮ 火を使用する設備等・電気設備等の種類及び数量	設置する火を使用する設備等・電気設備等の種類と数量を記入してください。 例 厨房設備 1台 ボイラー 2台 変電設備 1基 等

次の書類を添付して、2部届け出てください。

(1) 付近見取図(案内図)、配置図、平面図、立面図、仕様書及び室内仕上表等

(2) 消防用設備等又は特殊消防用設備等の配置図

※ 使用開始届とは別に、消防用設備等の着工届、工事計画届、設置届が届出されている場合は添付しなくてもかまいません。

(3) 特殊消防用設備等にあつては、設備等設置維持計画の写し

# 消防法施行令別表第 1

項別			
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	
	ロ	公会堂又は集会場	
(2) 項	イ	キャバレー、カフェ、ナイトクラブその他これらに類するもの	
	ロ	遊技場又はダンスホール	
	ハ	性風俗関連特殊営業等を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス等	
(3) 項	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	
	ロ	飲食店	
(4) 項		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗又は展示場	
(5) 項	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	
(6) 項	イ	(1)	病院（内科、整形外科、リハビリテーション科等総務省令で定める診療科名を有するもの）
		(2)	有床診療所（診療科名中に特定診療科名を有するもので病床数が 4 以上）
		(3)	上記(1)(2)に該当しない病院、診療所、助産所（病床数が 1～3）
		(4)	無床診療所、無床助産所（病床無）
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム、お泊りデイサービス等
		(2)	救護施設
		(3)	乳児院
		(4)	障害児入所施設
		(5)	障害者支援施設
	ハ	(1)	老人デイサービス、老人福祉センター等
		(2)	更生施設
		(3)	助産施設、保育所、児童養護施設、一時預かり事業を行う施設等
		(4)	児童発達支援センター、放課後等デイサービスを行う施設等
		(5)	老人障害者福祉センター、障害者支援施設、共同生活援助施設等
ニ		幼稚園又は特別支援学校	
(7) 項		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、その他の学校	
(8) 項		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	
(9) 項	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
(10) 項		車両の停車場又は船舶もしくは航空機の発着場	
(11) 項		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	
(12) 項	イ	工場又は作業場	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	
(13) 項	イ	自動車車庫又は駐車場	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
(14) 項		倉庫	
(15) 項		前各項に該当しない事業所	
(16) 項	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	
(16の2) 項		地下街	
(16の3) 項		準地下街	
(17) 項		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡、重要美術品	
(18) 項		延長 50 m 以上アーケード	
(19) 項		市長村長の指定する山林	
(20) 項		総務省令で定める舟車	

※一部簡略しています。

                     : 特定用途

## 収容人員の算定基準

防火対象物区分			収容人員の算定方法（消防法施行規則第1条の3）
1	イ	劇場等	従業者の数+客席の人員 $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ 固定式いす席数 (長いす式は } \frac{\text{正面幅}}{0.4\text{m}} \text{ (端数切捨))} \\ \text{ロ 立見席は } \frac{\text{床面積}}{0.2\text{m}^2} \\ \text{ハ その他の部分は } \frac{\text{床面積}}{0.5\text{m}^2} \end{array} \right\}$
	ロ	公会堂等	
2	イ	キャバレー等	遊技場→従業者の数+遊技用機械器具を使用して遊技できる数+観覧、飲食、休憩用固定式いす席数 (長いす式は $\frac{\text{正面幅}}{0.5\text{m}}$ (端数切捨))
	ロ	遊技場等	
	ハ	性風俗営業店舗等	
3	イ	料理店等	その他→従業者の数+客席の人員 $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ 固定式いす席数 (長いす式は } \frac{\text{正面幅}}{0.5\text{m}} \text{ (端数切捨))} \\ \text{ロ その他の部分は } \frac{\text{床面積}}{3\text{m}^2} \end{array} \right\}$
	ロ	飲食店等	
4	百貨店・マーケット		従業者の数+主として従業者以外の者の使用部分 $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ 飲食、休憩用部分は } \frac{\text{床面積}}{3\text{m}^2} \\ \text{ロ その他の部分は } \frac{\text{床面積}}{4\text{m}^2} \end{array} \right\}$
5	イ	ホテル等	従業者の数+宿泊室の人員 $\left\{ \begin{array}{l} \text{洋式宿泊室はベッド数} \\ \text{和式宿泊室は } \frac{\text{床面積}}{6\text{m}^2} \\ \text{簡易宿所は } \frac{\text{床面積}}{3\text{m}^2} \end{array} \right\} + \left\{ \begin{array}{l} \text{集会、飲食又は休憩の用に供する部分} \\ \text{イ 固定式いす席数} \\ \text{長いす式は } \frac{\text{正面幅}}{0.5\text{m}} \text{ (端数切捨)} \\ \text{その他の部分は } \frac{\text{床面積}}{3\text{m}^2} \end{array} \right\}$
	ロ	共同住宅	居住者の数
6	イ	病院等	従業者の数+病室内の病床数+ $\frac{\text{待合室の床面積の合計}}{3\text{m}^2}$
	ロ	老人短期入所施設等	従業者の数+要保護者の数
	ハ	老人デイサービス等	教職員数+幼児・児童・生徒の数
7	学校等		教職員数+児童・生徒・学生の数
8	図書館等		従業者の数+ $\frac{\text{閲覧室、展示室、展覧室等の床面積の合計}}{3\text{m}^2}$
9	イ	熱気浴場等	従業者の数+ $\frac{\text{浴場、脱衣場、マッサージ室、休憩の用に供する部分の床面積の合計}}{3\text{m}^2}$
	ロ	公衆浴場等	
10	停車場等		従業者の数
11	神社等		従業者の数+ $\frac{\text{礼拝、集会、休憩の用に供する部分の床面積の合計}}{3\text{m}^2}$
12	イ	工場等	従業者の数
	ロ	映画スタジオ等	
13	イ	駐車場等	従業者の数
	ロ	飛行機等の格納庫	
14	倉庫等		従業者の数
15	事業所等		従業者の数+ $\frac{\text{主として従業者以外の者の使用に供する部分の床面積の合計}}{3\text{m}^2}$
16	イ	特定複合建物	各用途の部分ごとに算定した人員の合計数
	ロ	その他の複合建物	
16の2	地下街		各用途の部分ごとに算定した人員の合計数
16の3	準地下街		—————
17	文化財等		$\frac{\text{床面積}}{5\text{m}^2}$
18	アーケイド		—————
19	山林		—————
20	舟車		—————